

2016年3月期第3四半期決算発表に関する主なご質問

2016.2.1

Q: ディスプレイ事業の生産面の不調は第2四半期に比べ改善してきているのでしょうか。販売価格・数量・マーケットシェア改善のためにどのような取り組みをしているのでしょうか？

A: 生産不調は、10月で主要な問題を解決し、もとの状態にほぼ回復しています。一方、関連市場の市況は低調で本格的な販売回復には至っていません。より薄いガラスや新製品など、高付加価値品にシフトしてプロダクトミックスを改善することで全体の底上げを図るよう注力してまいります。

Q: 持分法適用会社の状況はどうなっているのでしょうか。

A: 持分法適用会社全体では、前年に比べ減益を見込んでいます。地域別には、ブラジル・ロシアの合弁会社は昨年並み、中国の持分法適用会社で大幅に減益しています。中国市場は今後も厳しい状況が続くと想定しています。

Q: 原油安による燃料費用減のメリットは、今年度何億円程度効果がでると想定していますか？来年度も同規模のコスト削減効果を期待できますか？

A: 原燃材料費として、第3四半期累計で47億円の効果がでています。第4四半期でも燃料費用減の効果は継続すると想定しています。来年度(2017年3月期)については、今年の5月に通期見通しとあわせてご説明させていただきます。

以上